

顔面の著しい腫脹と浸出症状を経て外出生活が戻った成人アトピーの経過 (57 歳 女性)

症例 ID：001-50-SY | 記録日：2014 年 11 月 13 日

1. 診断・治療前経過

顔の赤みから症状が始まり、皮膚科のステロイドを短期間使用しましたが改善せず、顔が赤黒く腫れ、落屑と浸出液が続きました。複数の治療を試した後、松本医院を受診されました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	顔面症状に対してステロイド外用薬を短期間使用しました。
製品名	不明です。
強度	不明です。
使用期間	発症後の皮膚科受診時に短期間使用しました。
中止時期	症状改善がなかったため早期に中止しました。
来院前／後	来院前に使用歴があります。来院後は使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
発症初期	顔面症状	顔の赤みが徐々に増えました。
皮膚科受診後	急性悪化	顔が赤黒く腫れ、皮膚剥離と浸出液が続きました。
その後 2～3 年	長期経過	複数の治療を試しましたが、顔面症状が続きました。
強い時期	生活への影響	顔面腫脹と浸出液で会社を 2 週間休み、仰向けでしか眠れませんでした。
松本医院受診後	治療開始	煎じ薬、入浴、外用処置などを開始しました。
治療経過中	皮膚変化	腫れと浸出液が段階的に減り、外出できるようになりました。
記録時点	経過後	周囲が過去の強い症状を想像できない程度まで顔面状態が整いました。

4. ピーク時期

ピークは顔が別人のように腫れ、毎日浸出液が出て、横向きに眠れず会社を休んだ時期です。

5. 困りごと

- 顔面の外見変化により仕事や対人場面が苦痛となりました。
- 浸出液のため仰向け以外で眠れず、全身のこわばりもありました。

6. 経過のまとめ

長期に続いた顔面の腫れと浸出症状は治療経過の中で軽減し、外出と仕事が可能になりました。
記録時点では周囲から過去の強い症状を想像されない程度まで整っていました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。